

# 社会

## Social Studies

社会科は、社会的事象の働きや役割、それらと自分たちとの関わりについて理解することを通して、「よりよい社会の形成者及び個人として生きるために必要な資質・能力の基礎」を身に付ける教科です。

そのためには、社会的事象から主体的に課題を見だし、知識及び技能を活用して諸資料を調べたり調査活動を行ったりし、事象の特色や意味等を考え概念に関する知識を獲得したり、学習したことを生かして、望ましい社会の在り方や自分たちの関わり方を考えたりするなど、課題を追究・解決する活動の充実を図ることが大切です。

### 【社会科のページで使用されている用語解説】

社会的事象	事実として具体的に知ることができる社会的な事柄や出来事
多面的・多角的	多面的：様々な側面（地理的、歴史的、政治的、経済的、文化的など）から社会的事象を捉えること。 多角的：複数の立場（例：生産者と消費者など）や意見を踏まえて社会的事象を捉えること。
構想（選択・判断）	よりよい社会を築くために解決すべき課題（例：伝統や文化の保存や継承、環境、資源とエネルギー、人口増加と食糧、居住や都市に関わる問題、民族や宗教をめぐる対立、民主政治の推進と政治参加等）に対して、自分にできることを選んだり、意見や考えを決めたり、望ましい社会の在り方について立案（内容や実現方法）したりすること。
具体的な事実に 関する知識	特定の地域、歴史、現代社会で見られる事柄や出来事を説明する知識。
概念等に関する知識	習得した個別の具体的な事実に関する知識を総合的に捉えた社会的事象の特色や意味等、他の事象や社会において活用・応用することができる知識。

## 1 単元のつくり方

社会科は、第1章の2で示すAパターンの単元の構想が多くなります。「つかむ」過程では、児童生徒の課題意識から単元の課題を立てるとともに、追究内容や方法、学習計画を明確にさせます。そして、「追究する」過程では、明確な見通しのもと、各単位時間の追究活動を進め社会的事象についての「具体的な事実に関する知識」を習得させます。最後の「まとめる」過程では、各単位時間で習得してきたことを比較・関連させ、単元の課題の結論としての「概念等に関する知識」を総合的に導き出させます。

### 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善のポイント

○「なぜ?」「どのように?」などの課題意識を高められるよう、資料などを活用し、社会的事象との意外性のある出合いをさせる。

○単元の課題を見いだせるよう、児童生徒の課題意識を基に、解決することの焦点化に向けて話し合わせる。

○解決の見通しをもてるよう、予想を基に、追究内容や方法、学習計画を話し合わせる。

○一人一人が情報の収集・選択、読み取りができるよう、発達の段階に応じた資料等を準備、提示する。

○社会的事象について整理した情報の補完、修正ができるよう、調べたことを他者と伝え合わせる。

○単位時間の考察ができるよう、線や色、思考ツール等を用いて社会的事象に関する情報を分類・整理させる。

○社会的事象を多面的・多角的に考察できるよう、他者と話し合わせる。

○結論を整理できるよう、学習してきたことを基に、一人一人が考えた結論やその根拠などを話し合わせる。

○多面的・多角的に構想（選択・判断）できるよう、妥当性や効果、実現可能性等を話し合わせる。

#### 重要：単元・単位時間のすべてに関わること

○自身の学びや変容を自覚したり、次の学びにつなげたりできるよう、学習の振り返りをさせる。

### 過程と基本的な学習活動

つかむ

#### 1 単元の課題を把握する。

- ◇社会的事象と出合い、疑問や調べたいことをもつ。
- ◇単元の課題を立てる。

#### 【単元の課題】

〈単元の目標に到達するための大きな問い〉

- ◇単元の課題について予想し、整理する。
- ◇追究内容や方法、学習計画を明確にする。

追究する

#### 2 単元の課題の解決に向け、単位時間ごとに追究する。

##### 単位時間

##### 【めあて】

- ◇追究内容、方法を確認する。
- ◇必要な情報を集め、読み取る。
- ◇情報を基に考察する。

※社会的事象の (学級全体)  
具体的な事実に関する知識の習得

##### 【振り返り】(個人)

##### 単位時間

##### 単位時間

##### 単位時間

まとめる

#### 3 単元の課題についてまとめる。

- ◇単位時間ごとに学習したことを基に結論について話し合う。

- ◇学習してきたことを基に、構想（選択・判断）する
- ※学習内容に応じて設定

〈単元のまとめ〉 (学級全体)

※社会的事象に関する概念に関する知識の習得

- ◇単元全体の振り返りをする。

◇単元全体の振り返り (個人)

## 小学校 第5学年 「自動車をつくる工業」(全8時間計画)

### 【目標】

我が国の自動車生産に従事する人々の工夫や努力について追究・解決する活動を通して、その働きや役割により自動車工業が支えられていることを考え、理解するとともに、我が国の工業の発展を願う態度を養うことができるようにする。

### 1 単元の課題を把握する。

◇1965年頃と現在の自動車の写真、日本の乗用車普及率や生産台数の変化、自動車1台に使う部品や組み立て時間、シート組立ての資料を基に、疑問や調べたいことをもつ。

◇単元の課題を立てる。



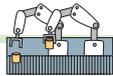
**【単元の課題】自動車づくりに関わる人々は、よりよい自動車をたくさんつくり届けるために、どのような工夫や努力をしているのだろうか。**

◇単元の課題について予想し、整理する。  
◇追究内容や方法、学習計画を明確にする。

### 2 単元の課題の解決に向け、追究する。

#### ①自動車ができるまで

流れ作業をしたり、危険な作業はロボットが活躍したりしているから速くて安全なんだね。



#### ②自動車づくりの工夫

人々は指示書を見て正確に効率よく作業しているね。ロボットと分担もしているんだね。



#### ③関連工場との関わり

必要な部品を必要な時に届けて、無駄なく効率よく作業をしているんだね。

#### ④外国との関わり

原料を輸入して自動車をつくり輸出したり、現地生産もしたりして、お金がかからないようにしているんだね。

#### ⑤安全や環境に対する工夫

人々のニーズや環境に与える影響を調査して、人や自然のことも考えた優れた自動車に仕上がっていたんだね。



### 3 単元の課題についてまとめる。

◇自動車づくりについて学習したことを基に、**結論**について話し合う。

自動車をつくる人々は、今の車に求められていることを研究し続けたり、組み立て工場と関連工場とが連携し、ロボットと人が役割を分担して効率よく速く、安全に生産したりするなど、よりよい自動車をつくり届ける工夫や努力をしていた。(学級全体)

◇単元全体の振り返りをする。

**自動車づくりに関わっている人々のおかげで私たちの生活がどんどん快適になっていくことに感謝したい。世界の人に日本の自動車のよさや技術力をもっと知ってもらいたいと思った。**(個人)

## 中学校 歴史的分野 「第二次世界大戦と日本」(全6時間計画)

### 【目標】

世界の動きと関わらせて、軍部の台頭から戦争の経過とその影響について追究・解決する活動を通して、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを考え、理解するとともに、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるようにする。

### 1 単元の課題を把握する。

◇第二次世界大戦中のヨーロッパにおける占領地や日独伊三国同盟の様子を伝える資料等を基に、疑問や調べたいことをもつ。

◇単元の課題を立てる。



**【単元の課題】第二次世界大戦とは、どのような戦争だったのだろうか。**

◇単元の課題について予想し、整理する。  
◇追究内容や方法、学習計画を明確にする。

### 2 単元の課題の解決に向け、追究する。

#### ①第二次世界大戦の始まりと経過

ドイツのポーランド侵攻により戦争が始まり、ファシズムの枢軸国と反ファシズムの連合国の戦いに発展していったんだね。

#### ②太平洋戦争と各国の動き

米英中蘭が日本の南進政策に対抗し、経済封鎖の包囲網を敷いたことをきっかけに、日本はアメリカに宣戦布告をしたんだね。

#### ③国民や植民地、占領地への人々の影響

日本は総力戦を強いられ国民生活にも大きな影響が及んだね。また、植民地や占領地でも弾圧や強制労働等が行われ、多大な被害を与えたんだね。



#### ④戦争の終結

独伊が降伏し、日本も激しい空襲や沖縄戦、原爆投下により、ポツダム宣言を受け入れ戦争は終わったけれど、多大な被害が出たんだね。

### 3 単元の課題についてまとめる。

◇「第二次世界大戦と日本」について学習したことを基に、**結論**について話し合う

第二次世界大戦は、欧州から始まり世界へと戦場を広げ、日本も軍国主義のもと国民総力の太平洋戦争へと突入し、社会や国民生活に大きな変化を与えた。初めて原爆が投下されるなど、世界で多くの犠牲を払うことになった戦争であった。(学級全体)

◇単元全体の振り返りをする。

**この大戦は日本はもちろん、世界各地で多くの犠牲を生んだ悲惨な出来事だ。私たちは、二度とこのようなことを繰り返さないよう、国際協調と平和の実現に向けた努力をしなければいけないと思った。**(個人)

## 2 単位時間の作り方（「つかむ」過程）【例】

「つかむ」過程では、本単元の社会的事象に関わる児童生徒の課題意識を基に、単元の課題を設定し、社会的事象を追究する必要感をもたせましょう。

### 【指導のポイント】

#### 【「めあて」の設定】

○単元の最初は解決内容は見えないため、「活動・テーマ」の要素に係るめあてとなる。

<例>

◆「○○についての資料等を基に、単元の課題を立てよう。」など。

#### 【課題意識が高まる資料】

○資料に、以下の要素が必要となる。

<例>

- ◆資料と資料、既存の知識と資料の間にずれがある。
- ◆大きさ、重さ、数字等の大小に驚きがある。
- ◆同じものや場所の変化や継続性が見える。
- ◆学習者によって考え方の違いが出やすい。

#### 【解決することを焦点化する工夫】

○線や矢印等を活用し、内容を関連付け補足を付け加えたり、分類・整理したりして可視化していく。

#### 【社会科における単元の課題の型】

○習得させたい「概念等に関する知識」を基に、単元の課題は設定される。

<例>

- ◆「どのように・どのような」型  
事実や手順、方法、特色を追究するとき
- ◆「なぜ・どうして」型  
社会的事象の意味や理由を追究するとき
- ◆「どうすれば・どちら」型  
構想（選択・判断）するとき

#### 【予想と追究内容や方法、学習計画を明確にする手順】

○課題について予想をする。

- ①精選した資料を複数提示する。
- ②予想の根拠となる事実を問いかけたりする。
- ③予想内容を整理して板書する。



○追究内容や方法を明確にする。

- ④整理した内容を基に、明らかにしたいこと等を問いかけ、追究内容を決定させる。
- ⑤これまでの追究方法を例示したり、方法の妥当性を問いかけたりする。
- ⑥追究内容や方法を学習計画としてまとめる。

### 基本的な流れ

#### 1 本時のめあてをつかむ。

- 社会科の学習における本時の位置付けが、単元の課題の設定であることを確認させる。
- 本単元の社会的事象に関わる資料（写真・地図、統計や実物等）を提示し、生活経験や既存の知識を問いかける。経験や知識が少ない場合には、事前、または本時の中で体験活動等を設定する。

#### 【めあて】

#### 2 一人一人が、本単元の社会的事象に関わる資料を基に、疑問や調べたいことを考える。

- 教科書等にある資料や教師が集め精選した資料を効果的に見せる順序やタイミングを工夫し提示する。
- 資料と既存の知識、複数の資料を比較・関連付けさせる。（発達段階によっては、学級全体で読み取る）
- 資料から考えたことを記述、発言させる。

#### 3 学級全体で、社会的事象についての疑問や調べたいことの共有や焦点化を図る。

- 資料を基に考えた疑問や調べたいことについて発言させる。
- 発言し合った内容の共通点や相違点を確認させたり、その理由を問いかけたりする。
- 板書内容を基に、キーワードを共有させる。

#### 4 本時のまとめとして単元の課題を立て、一人一人が学習の振り返りをする。

- 社会的事象について、共通して解決すべきことを問いかける。
- キーワードを基に、単元の課題を言葉としてまとめ、板書する。

#### 【単元の課題】 (学級全体)

〈単元の目標に到達するための大きな問い〉

- 本時の振り返りとして、「本単元で何をしていくか」や「特に興味・関心をもったことは何か」、習得した社会的事象に関する知識や参考になった友達の意見等を記述・発言させる。

#### 単位時間の振り返り (個人)

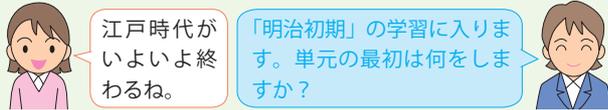
※発達の段階に応じて単元の課題の設定後に、「予想をし、追究内容や方法、学習計画を明確にする活動」までを行う場合もあります。

学習計画表		
単元の課題「~~~~~」		
時	調べる内容	方法
1	追究内容Ⅰ	教科書等
2	追究内容Ⅱ	聞き取り等
3	追究内容Ⅲ	博物館等
4	まとめる	レポート等

## 小学校 第6学年 「明治の国づくりを進めた人たち」 【ねらい】

江戸と明治の日本橋付近の資料を基に疑問や調べたいことを考え、単元の課題を立てる活動を通して、明治初期に活躍した人々の働きや社会的変化の要因を追究する意欲をもてるようにする。

### 1 本時のめあてをつかむ。



- 江戸時代と明治時代の日本橋付近の絵図等を提示し、変化した内容について問いかける。

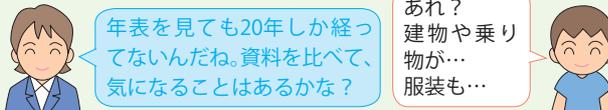
#### 【めあて】

写真や絵図を比べ、江戸から明治へどのように変わったのかについて話し合い、単元の課題を立てよう。

### 2 一人一人が、江戸時代と明治時代の日本橋付近の絵図等を基に、疑問や調べたいことを考える。



- 明治初期の社会の様子や庶民生活について気付いたこと、考えたことをノートに記述させる。



### 3 学級全体で、明治初期の変化に対する疑問や調べたいことの共有や焦点化を図る。



- 発言内容のキーワードを確認させ、矢印や線でつなぐ。

- なにか国の仕組みが……………。
- 社会をどのように変えようと……………。
- 明治維新？という言葉は聞いたことがあるけど……………。
- どのような願いや思いから…誰が……………。
- どのような人々が……………。

### 4 本時のまとめとして単元の課題を立て、一人一人が学習の振り返りをする。

- 江戸末から明治初期の出来事や社会の動きについて、共通して解決することを問いかける。
- 児童の発言を基に単元の課題をまとめ、板書する。

#### 【単元の課題】

(学級全体)

明治維新を進めた人々は、どのような思いや願いで国の仕組みや社会を変えていったのだろう。

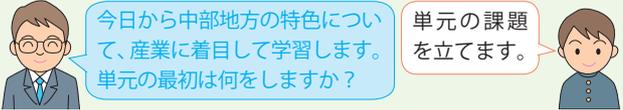
- 本時の振り返りとして、習得した社会的事象に関する知識や参考になった友達の意見等を記述・発言させる。

20年でまったく様子が違うことには驚いた。現在の生活に近付いているけど、A君の言った明治維新の内容や、活躍した人々について早く調べてみたいな。(個人)

## 中学校 地理的分野 「日本の諸地域『中部地方』」 【ねらい】

中部地方の自然環境や東海、中央高地、北陸の産業に関する資料を基に疑問や調べたいことを考え、単元の課題を立てる活動を通して、3つの地域の産業の特色や違いを追究する意欲をもてるようにする。

### 1 本時のめあてをつかむ。



- 中部地方の地図を提示し、地形や中部地方を3つに区分した地域の気候について問いかける。

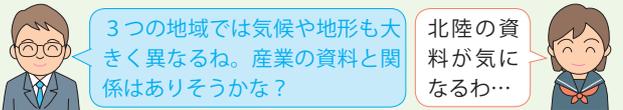
#### 【めあて】

中部地方の産業の特色に関わる資料を基にして、単元の課題を立てよう。

### 2 一人一人が、中部地方の産業に関する資料を基に、疑問や調べたいことを考える。(教科書の資料を使用)



- 東海、中央高地、北陸の自然環境に関する資料や産業に関する資料等から、疑問や調べてみたいことをノートに記述させる。



### 3 学級全体で、社会的事象についての疑問や調べたいことの共有や焦点化を図る。



- 発表内容のキーワードを確認させる。



### 4 本時のまとめとして単元の課題を立て、一人一人が学習の振り返りをする。

- 3つの地域の産業について、共通して解決することを問いかける。
- 生徒の発言を基に、単元の課題をまとめ、板書する。

#### 【単元の課題】

(学級全体)

中部地方の産業は、どのような特色があるのだろう。

- 本時の振り返りとして、習得した社会的事象に関する知識や参考になった友達の意見等を記述・発言させる。

中部地方は、地形や気候から3つの地域に区分できるけど、それぞれ産業にどのような違いや特色があるのか、早く調べてみたいな。(個人)

## 2 単位時間の作り方（「追究する」過程）【例】

「追究する」過程では、単位時間ごとに単元の課題を確認させ、何のための追究活動であるかを常に意識させましょう。

### 【指導のポイント】

#### 【「めあて」の設定】

○「解決すること・解決の方法（学年・校種で省略）」が含まれることが重要となる。

<例>

◆「〇〇に関する資料等を調べ、～はどうなっているのか、明らかにしよう。」

◆「調べたことの共通点を話し合い、～社会的事象～の特色をはっきりさせよう。」 等

#### 【追究における資料】

○**社会科は資料が命**とも言われる。解決につながる資料を精選して提示するとともに、その読み取り方の指導も同時に行う。

#### 【情報の整理】

○資料の丸写しを避けるため、事実をキーワードで示させたり、考えを対応させたりする。

○ワークシートを活用する場合は、枠組み等を明確にしたものを提示する。

#### 【考えたことを話し合う】

○児童生徒の発言について問い返したり、新たな側面や立場等から考えられる視点を提示したりする。

#### 【「まとめ」の内容】

○社会的事象の特色や意味について整理した「**具体的な事実に関する知識**」を学級全体で共有する。

#### 【「振り返り」について】

○各単位時間に捉えた「**具体的な事実に関する知識**」や、解決に有効であったことを自分の言葉で表現させ、多様な解決方法を身に付けられるようにする。

○視点は、学習内容により下記の例を組み合わせるなどして示す。

<例>

◆「**分かったことは何か**」

◆「**どのように解決したか**」

◆「**次に調べてみたいこと**」 等

### 基本的な流れ

#### 1 本時のめあてをつかむ。

- 単元の課題や学習計画、前時までの学習内容を確認させる。
- 単元の課題について、予想したことを確認させる。
- 解決の方法（使用する資料や学習活動等）を問いかける。

#### 【めあて】

#### 2 一人一人が、解決に必要な情報を集め、読み取る。

- 追究する社会的事象に関わる資料等（教科書、資料集等）から、解決に必要な情報を集めさせる。
- 集めた情報から、解決に必要な事実を読み取らせたり、その意味や役割を考えさせたりしたことをノート等に整理させる。
- 一人一人が集め、読み取った情報をペアやグループで補充・修正させる。

#### 3 学級全体で、整理した情報を基に考察する。

- 情報を共有させるとともに、社会的事象の特色や意味について、「**情報＝事実（根拠）**」と「**社会的事象の特色や意味＝考え**」を区別して交流させる。
- 出合った意見について、本時の解決とのつながりを小集団や学級全体で話し合わせる。
- 話し合いの内容を線や矢印を活用して構造的に板書する。



#### 4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。

- 考察した内容について、「**つまり**」や「**～を合わせると**」等の言葉かけをし、児童生徒の発言を基に、まとめの言葉を板書する。

#### <まとめ>

（学級全体）

- 一人一人に、本時のめあてを意識した学習の振り返りをさせる。その際、視点等を示していく。

#### 単位時間の振り返り

（個人）

## 小学校 第6学年 「明治の国づくりを進めた人たち」 【ねらい】

大久保利通らが進めた明治の諸改革を調べ、その意味を話し合う活動を通して、富国強兵のために様々な政策が行われたことを理解できるようにする。

### 1 本時のめあてをつかむ。

- 前時までのペリー来航や討幕運動の内容を振り返るとともに、岩倉使節団の資料を提示し、明治維新で活躍した人々の思いや願いを調べ、確認させる。

大久保らは何のために外国に行ったのかな？



1871年  
日本の使節団が欧米に出発する様子を示した資料  
(教科書の資料を使用)

### 【めあて】

欧米に学んだ大久保利通らは、どのような国づくりをめざしていったのだろう。

### 2 一人一人が大久保らの政策について教科書や資料集を活用し、調べる。(教科書の資料を使用)

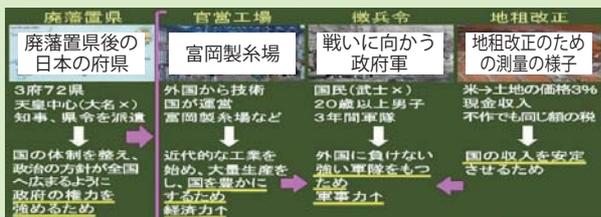
- 廃藩置県・殖産興業・地租改正・徴兵令について、その内容や意味をワークシートにまとめるよう促す。

政策( )	政策( )	政策( )	政策( )
廃藩置県後の日本の府県	富岡製糸場	戦いに向かう政府軍	地租改正のための測量の様子
内容	内容	内容	内容
目的	目的	目的	目的

- 座席が近い児童同士で情報の補完・修正をさせる。

### 3 学級全体で、整理した情報を基に考察する。

- 調べた事実を発表させるとともに、各政策が何のために行われたのか話し合わせる。



廃藩置県でなぜ政府の権力が強まるの？  
 県令が各地に派遣されたよね。  
 政府の方針を反映させやすくなるよね！

### 4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。

- 「豊かな国」「強い軍隊」「外国に負けない」等のキーワードを基に、児童に本時のまとめを記述させるとともに、板書をして共有をさせる。

<まとめ> **つまり？** (学級全体)  
 大久保らは、天皇中心の政府をつくり、財政面でも豊かな国にするとともに、外国に負けない強い軍隊をもつ、近代国家にしようとした。

- 政府への不満があった人々も存在したことを伝えるとともに、本時のめあてを意識した振り返りをするよう促す。

大久保たちの政策は豊かで強い軍隊のある国を目指したけど、天皇中心の国づくりって、前に学習した聖徳太子の時代と共通点があることに驚いた。どのような人々が改革に不満をもち、何をしたいのかも知りたい。(個人)

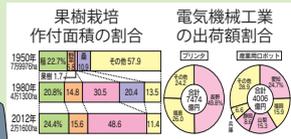
## 中学校 第2学年 日本の諸地域「中部地方」 【ねらい】

自然環境と産業やその変化の関連を話し合う活動を通して、現在の中央高地に見られる産業が成立した理由を理解できるようにする。

### 1 本時のめあてをつかむ。

- 資料を基に、中央高地が他と比べ、電気機械工業、果樹栽培の割合が高いことを確認させる。

単元の課題や前時の内容、今日の追究内容について確認しましょう。

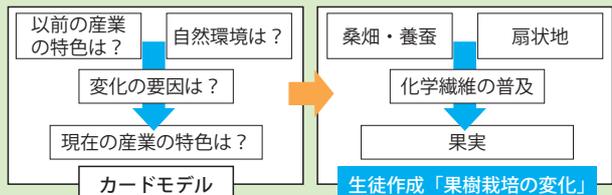


### 【めあて】

中央高地の産業は、なぜ、電気機械工業や野菜・果樹栽培が盛んになってきたのだろう。

### 2 一人一人が、諏訪湖周辺の工業地域や、甲府盆地の果樹栽培の変化、気候等に関わる資料から解決に必要な情報を集め、読み取る。

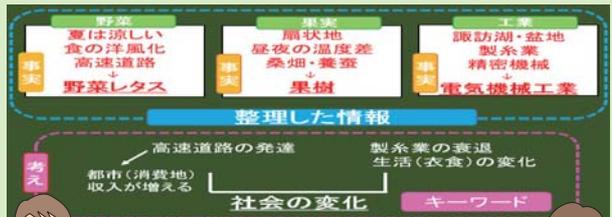
- 変化した産業や自然環境、その要因についてカードを活用し、整理するよう促す。



- 変化した産業、自然環境、要因について収集・整理した情報をペアで補完・修正させる。

### 3 学級全体で、整理した情報を基に、中央高地における産業が成立した理由を考察する。

- 産業、自然環境、要因について学級全体で共有させる。



何か共通点はあるかな？  
 どれも自然環境を生かしているよね。

### 4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。

- キーワードや発言し合ったことを基に、生徒に本時のまとめを記述させるとともに、板書をして共有をさせる。

<まとめ> **つまり？** (学級全体)  
 人々の生活や社会が移り変わっても、変わらない自然環境を生かしたり、今までの技術を活用したりして、中央高地の産業が発展するように努めてきた。

- 本時のめあてを意識した振り返りをするよう促す。

社会が変化しても自然環境を生かし、今まで盛んだった養蚕の技術を活用できる新たな産業を見つけ、発展するように努めてきたのには感心したな。北陸の産業はどんなのかな？(個人)

## 2 単位時間の作り方（「まとめる」過程）【例】

「まとめる」過程では、単元の課題に立ち返らせ、「追究する」過程の各単位時間の学習で習得してきた具体的な事実に関する知識を基に、自分の結論を導き表現させましょう。

### 【指導のポイント】

#### 【「めあて」の設定】

- まとめ方など結論の整理の仕方を問いかける。  
<例>
- ◆「○○をして(使って)調べてきたことを結び付け、単元の課題の結論(答え)をまとめよう。」

#### 【社会的事象を多面的・多角的に捉えるための図等での整理】

- 児童生徒の実態、学習内容や活動に適した枠組みや表し方等のモデルを提示する。  
<例>
- ◆ベン図
- ◆関係図（ピラミッド・クラゲチャート）
- ◆くま手・フィッシュボーン図 等
- ※「まとめる」過程のみの使用とは限らない。
- ※総合的な学習の時間「考えるための技法」を参照。

P162

#### 【話し合う際】

- ホワイトボードやプレゼンテーション（ICTの活用）、ワークシート等、児童生徒の実態や学習内容に適した方法で可視化し伝えさせる。
- 【話す側の視点】

#### 【単元全体の振り返り】

- 「概念等に関する知識」だけでなく、視点を示して、社会的事象のよさや価値を判断したり、自分との関わりとして考えさせたりする。  
<例>
- ◆「社会的事象について何を学んだか」
- ◆「どのように学んだか」
- ◆「社会生活でどのように生かすか（社会に参画する態度）」 等

### 基本的な流れ

#### 1 本時のめあてをつかむ。

- 単元の課題や学習計画等を確認させる。
- 社会科の学習における本時の位置付けが、単元の結論を導く時間であることを確認させる。
- 各単位時間で解決してきたことを問いかける。

#### 【めあて】

#### 2 一人一人が、学習してきたことを基に単元の課題に対する結論を考える。

- 習得してきた「具体的な事実に関する知識」等の共通点や関係性を整理させる。
- 整理したことを基に、単元の課題に対する結論を表現させる。その際、文型や前時までの学習で共有したキーワード等も提示する。
- 一人一人が表現した単元の課題に対する結論の根拠を机間指導しながら問いかける。

#### 3 学級全体で、単元の課題に対する結論を話し合う。

- 根拠を明確にししながら、一人一人が考えた結論を伝え合わせる。
- 伝え合った結論や根拠の妥当性、共通点や相違点を考えさせる。【聞く側の視点】

#### 4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。

（単元全体のまとめ・振り返りをする。）

- 単元の課題の結論について話し合ったことを基に、「分かったこと」「気付いたこと」を問いかける。
- 児童生徒の発言（結論や根拠等）を板書等で整理し、単元全体のまとめ（概念等に関する知識）を導く。

#### <単元のまとめ>

社会的事象に関する**概念等に関する知識**の習得

- 単元全体の学習を通しての振り返りをさせる。

#### 単元全体の振り返り

(個人)

- 一人一人が振り返りをした内容を共有させる。
- 単元の課題を協働的に解決できたことや、多面的・多角的に考えられたこと、また、自分と社会との関わりについて考えられたこと等を称賛する。(学びの価値付け)

## 小学校 第6学年 「明治の国づくりを進めた人々」 【ねらい】

一人一人が作成した人物関係図の共通点を話し合う活動を通して、明治維新を進めた人物たちは、欧米から国を守るという思いをもち、日本の近代化を図る諸改革を行っていたことを理解できるようにする。

### 1 本時のめあてをつかむ。

- 「明治維新を進めた人々は、どのような思いや願いで国のしくみや社会を変えていったのだろう。」という単元の課題を確認させる。

今まで、どのようなことを学習してきましたか？



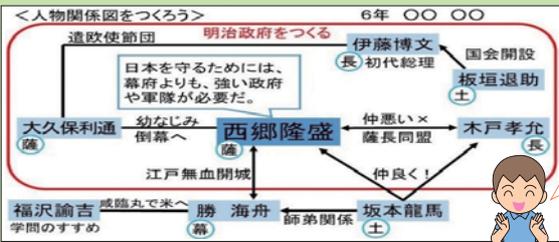
今日は単元の最後です。何をしますか？

### 【めあて】

学習してきたことを基に人物の関係を図に整理し、明治維新に関わった人々の思いや願いをまとめよう。

### 2 一人一人が中心となる人物を選び、人物関係図を作るとともに、単元の課題の結論を考える。

- 関係図の人物の枠に吹き出しを付け、選択した人物の思いや願いを表現させる。



### 3 学級全体で単元の課題に対する結論を話し合う。

- 各人物を中心として作成した人物関係図を黒板上に並べ、彼らの「思いや願い」の共通点を考えさせる。

木戸は新政府による豊かで強い国にしたいと願っていたよ。



西郷も幕府より強い政府と軍隊が必要と考えていたね。



勝海舟も幕府のこと以上に、日本の未来を考えていたしね。



活躍した人々は権力者でない若い人が多かったよね。



幕府の体制への不満は共通しているよね。



### 4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。

- 児童の発言を基に単元の課題の結論を整理してまとめる。

結論を整理してみましょう。



### <単元のまとめ>

(学級全体)

日本の未来を心配した若い武士たちが、日本を外国に支配されない豊かで強い国にしたいという思いや願いのもと、新政府をつくり、様々な改革に取り組んでいた。

- 「明治の国づくりを進めた人々」の単元の課題を意識した振り返りをするよう促す。

みんなの関係図の共通点を見つけたら、権力者でない若い武士が日本の未来を思い諸改革を進めたことが分かった。すごいエネルギーだし、明治維新があったからこそ、今の日本があるのではないかと感じた。(個人)

## 中学校 第2学年 日本の諸地域「中部地方」 【ねらい】

追究し整理した3つの地域の産業の特色の共通点を話し合う活動を通して、中部地方の産業は自然環境や昔からの技術の活用によって成り立っていることを理解できるようにする。

### 1 本時のめあてをつかむ。

- 「中部地方の産業は、どのような特色があるのだろう。」という単元の課題を確認させる。



単元の最後です。今日は何をしますか？

「単元の課題」の結論を考える時間です。



### 【めあて】

3つの地域の産業の共通点を話し合い、中部地方の産業の特色をまとめよう。

### 2 一人一人が学習してきたことを基に単元の課題の結論を考える。

- 各単位時間で捉えてきた具体的な事実に関する知識の共通点を問いかける。
- 導き出した共通点を基に単元の課題に対する結論を一人一人に表現させる。

【一人一人の結論】  
私は、中部地方の産業の特色としては、どの地域も…

下線の共通点から考えてみたら…



#### 【第1時のまとめ】

中部地方は、地形や気候から東海・中央高地・北陸という3つの地域に区分できる。

#### 【第2時のまとめ】

東海の産業は、昔からの技術の応用や交通網の発達によって、自動車産業を中心に発展してきた。

#### 【第3時のまとめ】

生活や社会が移り変わっても、変わらない自然環境を生かしたり、今までの技術を応用したりして産業が発展するように努めてきた。

#### 【第4時のまとめ】

北陸の産業は、自然環境を生かした農業や加工産業、昔ながらの工芸品を生かした地場産業が盛んである。

### 関係図

### 3 学級全体で、単元の課題に対する結論を話し合う。

- 発表し合った一人一人の結論の共通点を多面的・多角的に比較させる。

中部地方の産業は、自然環境を生かしていると思うよ。

技術を応用するなど人々が努力して産業を發展させているよね。

そういえば、私の家には輪島塗りの茶碗があるよ。昔から伝わる技術を生かしているんだね。



### 4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。

- 生徒の発言を基に単元の課題の結論を整理してまとめる。

### <単元のまとめ>

(学級全体)

中部地方の産業は、自然環境を生かしたり、昔からの技術を活用したりする努力や工夫をして、農業や工業を行っているという特色がある。



- 「中部地方」の単元の課題を意識した振り返りをするよう促す。

3つの地域の産業の共通点を見つけたら、雪が多いなどの自然環境に対して、人々は工夫しながら産業を成り立たせていることが分かった。他の地域でも同じことが見られるのではないかと調べてみたいと思った。(個人)

## 2 単位時間の作り方（「まとめる」過程） 構想（選択・判断）が位置付く場合【例】

「社会的事象への理解を基に、社会とのよりよい関わり方や改善策について合理的に価値判断・意思決定することで、社会参画への意識や事象への関心を高めることができます。以下は1つの例です。

### 【指導のポイント】

#### 【「めあて」の設定】

○対象や目的を意識して、めあてを設定する。

<例>

##### ◆【自分と社会との関わり方】

「〜〜のために、〇〇を考えよう。」

##### ◆【社会に対する改善策】

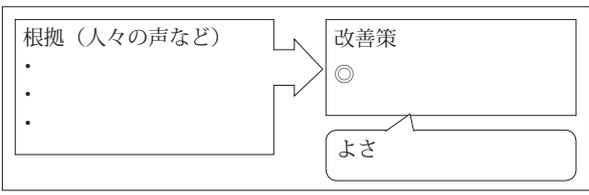
「〜〜に向けて、〇〇を提案しよう。」

※複数時間で実施する場合は、「単元の課題2」として設定する場合もある。

#### 【根拠を明確にさせる際】

○学習してきた内容を想起できる資料やキーワード、問題に直面している人々の声や根拠を記述する学習プリントを提示する。

<例>



#### 【話し合う際】

○ネームマグネットを用いたり、付箋紙を操作させたりするなどして、意見や立場を可視化して伝え合わせる。

○視点には次のようなものがある。

<例>

- |             |             |
|-------------|-------------|
| ◆様々な立場      | ◆妥当性（実現可能性） |
| ◆順位性        | ◆貢献度        |
| ◆効率と公正（中学校） | 等           |

#### 【改善策について】

○提案する場合、可能であれば実際に関わりのある人々から、実現の可能性や妥当性等の評価を受けられるようにする。

#### 【本時のまとめ】

○社会との関わり方や改善策について話し合ったことを通して、大切だと思ったことや気付いたことを学級全体で共有する。

### 基本的な流れ

#### 1 本時のめあてをつかむ。

- 本単元で解決してきた単元の課題の結論を問いかける。
- 学習してきた社会的事象が抱える問題に関わる資料等を提示し、それが続いた際の社会について予測させる。
- 「自分にできること」「これから大切なこと」「優先すべきこと」等を問いかける。

#### 【めあて】

#### 2 一人一人が、社会との関わり方や改善策を考える。

##### 【自分と社会との関わり方】

- これまでの自分の生活の在り方や習慣を問いかける。
- 社会との関わり方とその根拠をセットにして考えさせる。  
※個人

##### 【社会に対する改善策】

- 改善策のみでなく、提案する相手を明確に設定させる。
- 社会に対する改善策とその根拠をセットにして考えさせる。  
※グループや学級全体

#### 3 学級全体で、社会との関わり方や改善策を話し合う。

- 根拠を明確にしなが、社会との関わり方や改善策を伝え合わせる。
- 伝え合った社会との関わり方や改善策と根拠について、様々な視点で考えさせる。

#### 4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。

《学級やグループの意見や立場を決めたり、提案としてまとめたりする際は、ここで決める！》

- 社会との関わり方や改善策について話し合ったことを問いかける。

#### 〈まとめ〉

（学級全体）

- 最終的な自分の意見や立場を再決定させるとともに、その理由を表現させる。
- 「社会的事象について何を学んだか」「どのように学んだか」「社会生活で学びをどのように生かすか（社会参画する態度）」等の視点に基づいて、学級全体の振り返りをさせる。

単位時間の振り返り

（個人）

小学校 第3学年 「火災から守る」  
【ねらい】

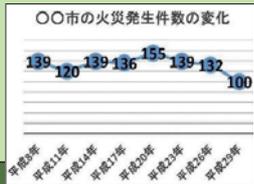
既習の公助や共助と自助の取組を基に、火災から生活を守る取組とその有効性を話し合う活動を通して、地域社会の一員として、防火に取り組む大切さについての理解を深め、その意欲を高められるようにする。

1 本時のめあてをつかむ。

- 公助や共助の取組内容や、自助の必要性を振り返らせるとともに、火災件数の資料を提示し、火災から自らの生活を守る取組を話し合うことを確認させる。



今よりも、火災の数を減らしたり、被害を減らしたりするために、自分にできることは何かな？



【めあて】

火災被害を減らすために自分にできる取組を考えよう。

2 一人一人が火災被害を減らすことにつながる取組と、その理由を考える。

- 複数考えた自分なりの取組の中から、有効性の高いものを1つ選択・判断し、その理由を学習プリントに記述するよう促す。

☆自分の考えを書きましょー。

- ・火のしまつをする。
- ・ストーブの前に物を置かない。
- ・ひなんくんれんに参加する。
- ・火遊びをしない。
- ・ひなん場所を知っておく。
- ・いつもハンカチを持っている。

理由は何？よきは？

- ・ひなん場所を知っておく。

理由は何？よきは？

- ・いつもおきるかわからないから、知っておけば、そこへすぐ、にげられるから。

3 学級全体で、互いの取組のよさを話し合う。

- 発表された取組をカードに記述し、分類させる。
- 視点「効果が高い」「みんなができる」を提示し、生活経験を基に取組のよさを伝え合わせる。

みんな できる	こうか 高い	前
お・は・し・も 守る	すぐに119番	家には消火器を用意
まわりの人に知らせる	大事なものを持ってにげる	コンセントのほりそうじ
すぐに大人に知らせる	水をバケツにくんで消す	ひなんグッズの用意
おきた後 ほかいを少なく	おきた前にもぞなえる	ストーブまわりの整理
		たこ足配線しない
		家のまわりに整えやすい物置かない
		いつもハンカチをもつ
		きかいに水をかけない
		消火くんれんにさん加
		ひなん場所のかくにん
		子どもだけで花火をしない



火災が起こる前と後では、どちらの取組を大切にしたいの？

火災の原因をなくすことが大切だから、前だな。



あらかじめ備えたり、確認したりすることが必要だよ。

4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。

- 話し合いを通して見いだした防火を行う上で大切なことを児童と一緒にまとめ、板書する。

<まとめ>

(学級全体)

つまり？

火災の被害を減らすために、〇〇市民として一人一人が責任をもって自分にできる事前の防火の取組を行う。

- 視点「学んだこと」「生かすこと」を提示し、よりよい社会に向け、自分にできる防火の取組を再決定させるとともに、単元の学習を通じた振り返りをするよう促す。

身の回りの人の公助や共助で自分たちの安全が守られていて、それがもっと効果的になるように自助が大切だと分かった。普段は防災のことは考えていなかったから、火の元の確認をしっかりしたい。(個人)

中学校 第3学年 「地方自治と私たち」  
【ねらい】

地方自治への参画を想定したパブリックコメントを考える活動を通して、地方自治における意思決定が、「効率と公正」「実現の可能性」等の視点を基に、民意を反映させながら行われていることへの理解を深め、地方自治に関わってこうとする意欲を高められるようにする。

1 本時のめあてをつかむ。

- 地方自治や財政の仕組みと課題について振り返るとともに、地方自治に参画するパブリックコメントを提案するシミュレーションを確認させる。

あなたの声を市政に！

子どもが育てやすい街に…人が集まる街にした…

パブリックコメント制度による意見募集を行います

【めあて】

- 市を活性化するために、パブリックコメントを提案しよう。

2 一人一人が●●市の課題を確認し、市を活性化するためのパブリックコメントを考える。

- ●●市の主な条例・財政の状況・地域の課題について調べ、ワークシートにまとめるよう促す。
- ●●市の活性化のために有益だと思われることを考え、まとめさせる。

パブリックコメント①

パブリックコメント②

パブリックコメント③

あなたの声を市政に！  
パブリックコメント募集

より有益なコメントはどれだろう？

3 学級全体で意見を共有し、より有益なパブリックコメントを考察する。

- 根拠を基にパブリックコメントを発表させ、「効率と公正」「実現の可能性」の視点で有益さを評価させる。

魅力ある返礼品を開発して、ふるさと納税を増やして財政を健全化させよう



老若男女が集まる大きな公園を整備しよう

財源の確保は？  
効率▲

公共交通機関の運賃を半額にして、お年寄りが市街地に来てもらえるようにしよう

若年層への配慮がない  
公正▲

財源確保○  
市のPR○  
効率公正○

効率さは？  
公正さは？  
本当に有益？



4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。

- 「効率と公正」「実現の可能性」を踏まえて、より●●市を活性化させるパブリックコメントを再決定させる。

<まとめ (再決定コメント例) >

(学級全体)

特産物を使用した返礼品を多く開発し、ふるさと納税を多く集めることで、市の財政を街の開発に充てる。

- 地方自治へ関わろうとする姿勢 (社会に参画する態度) について、単元の学習を通じた振り返りをするよう促す。

自分なりに意見を考え、主張していくことが地方自治を進める上で大切なことであることに気付くことができた。もっと地方自治のことを知りたいと思った。(個人)

## 3 学習過程と教科書との関連

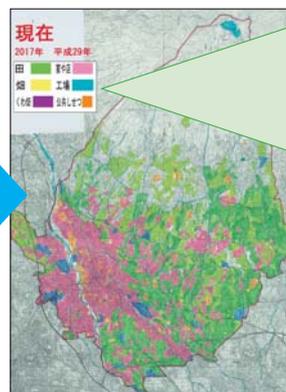
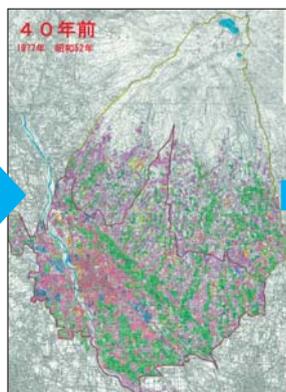
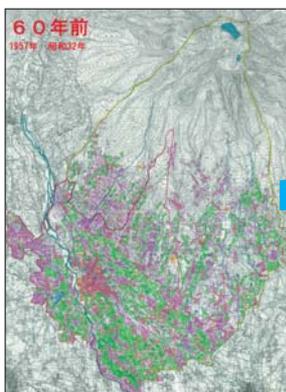
社会科の教科書は、課題を解決する過程に沿って構成され、「追究する」過程で扱うページは単位時間ごとに見開きで示される傾向が見られます。これらのことを踏まえ、単位時間のねらいや学習活動に応じて、効果的に教科書の資料や記述内容などを活用しましょう。

過程	活用例について
つかむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の単元の課題（学習の問題など）を確認するとともに、例示されている問いかけの順序等を参考にして課題を立てるまでの展開を考える。</li> </ul> <p>【資料】・・・児童生徒が、社会的事象に対して生活経験を想起したり、社会的事象を比較して疑問点や調べたいことを考えたりできるように提示の仕方を工夫する。</p>
追究する	<ul style="list-style-type: none"> <li>単位時間ごとに習得させたい具体的な事実に関する知識を明確にし、単位時間ごとのめあてや学習活動を考える。</li> <li>聞き取り調査を設定する際、調査の方法や視点、留意事項についての記述内容を参考にさせる。</li> </ul> <p>【資料】・・・教師が説明すること、児童生徒に読み取らせたいことや考えさせたいことを明確にする。（複数の資料を比較・関連させることも大切）また、資料が複数ある場合は、その並びや順序の意図を考え、展開に反映する。</p>
まとめる	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元の課題をまとめる際の表現方法や活動が例示されていることが多い。（例：白地図、年表、新聞での表現、討論等）単元の学習に入る前に参考にし、「まとめる」過程での学習活動をイメージする。</li> </ul>



## 4 学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた指導の工夫【例】

困難さ	指導の工夫
社会的事象等への興味・関心をもつことが難しい場合	・社会の営み（動き）と身近な生活が繋がっていることを実感できるよう、特別活動等との関連付けを図った体験活動を取り入れる。その際、見通しをもって安心して活動できるように順序等を説明する。
社会的事象等への興味・関心をもつことが難しい場合	・疑問をもったり、予想の手がかりを得られったりするよう、社会的事象の様子が分かる資料を焦点化して示すなど工夫をする。また、手がかりになる事象に関する事実をカード等に整理したり、順序を工夫したりして提示する。
社会的事象に関わる事実気付くことが難しい場合	・社会的事象等に関わる事実を読み取りやすくするために、地図等の情報を拡大したり、範囲を限定したりして、掲載されている情報を精選し、視点を明確にして提示する。



田	家や店
畑	工場
くわ畑	公共施設

色を付け、土地利用の変化に視点を向けられるよう工夫しています。



情報を基に考察したり、まとめたりすることが難しい場合

- ・着目すべき視点からまとめられるよう、見本（記述例、使用例）や手がかりが記入されているワークシートを作成し、活用させる。

## 5 情報活用能力の育成

社会科の学習における情報とは・・・社会的事象に関する事実等

〈例〉人々の工夫や努力、自然環境や位置関係、歴史上の時期や出来事、政治の仕組み、人々の思いや願い、考え方など



## 6 地域の人材や物的資源の活用

各学校では、学習内容及び学校や地域の実態に合わせた調査活動、現場学習等が計画的に実施されていると思いますが、以下に例として示す地域の人材や物的資源も積極的に活用していきましょう。

学習指導要領の内容	関係施設や団体等	実施可能内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲料水を供給する事業〔小4〕</li> <li>・自然災害や防災教育〔小4・5〕</li> <li>・地理的分野（中学）等</li> </ul>	利根川ダム統合管理事務所 027-251-2021（代表）	防災拠点・利根川ダム資料室の見学 学習用パンフレットのダウンロード <a href="http://www.ktr.mlit.go.jp/tonedamu">http://www.ktr.mlit.go.jp/tonedamu</a>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の移り変わり （生活の中で使用する道具）〔小3〕</li> <li>・我が国の歴史上の主な事象〔小6〕</li> <li>・歴史的分野〔中学〕等</li> </ul> 	群馬県生活文化スポーツ部 文化振興課 東国文化推進室東国文化係 027-226-2525	学識経験者である「東国文化ハカセ」による出張授業 「東国文化副読本」を中学1年生に提供 等
	群馬県立歴史博物館 027-346-5522	展示見学 体験学習（火おこし・浮世絵） 展示学習プログラムの提供 等
	群馬県埋蔵文化財調査事業団 （発掘情報館） 0279-52-2513	資料展示見学 資料貸出（出土資料・レプリカ等） 体験学習（火おこし、勾玉、土器）等
	群馬県教育委員会 文書館 027-221-2346	施設見学や史料解説 歴史学習・地域調査学習における歴史資料についての相談、史料提供 等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の政治の働き〔小6〕</li> <li>・公民的分野〔中学〕等</li> </ul>  <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 10px;">             社会科は主権者教育の重要な役割を担う教科です。         </div> 	「群馬県法教育推進協議会」のホームページに、多くの関係機関・団体の「法教育の取組一覧」を掲載（☆は一例）	
	☆前橋地方裁判所 027-231-4275（代表）	「出前授業」模擬裁判の実施 裁判官等の派遣 法廷見学、裁判傍聴 等
	☆前橋地方検察庁 027-235-7800(代表)	「出前授業」補助教材を使用 検察官、検察事務官の派遣 等
	☆群馬弁護士会 027-233-4804	「出前授業」 刑事手続きの流れの説明、模擬裁判の実施 等
	☆群馬県選挙管理委員会 027-226-2218	「出前授業」 模擬選挙や選挙講座の実施 等
	群馬県租税教育推進協議会 前橋税務署 税務広報広聴官 027-224-4371(代表)	「出前授業」 租税教室の実施 ※租税教育用副教材は県ホームページから「租税教育」で検索
財務省関東財務局 前橋財務事務所総務課企画係 027-896-2907	日本の財政の現状と課題、金融の仕組み（金融知識、金融犯罪等）などについて講義形式の出前授業	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全般的に関わること</li> </ul>	群馬県NIE推進協議会 事務局：上毛新聞社編集局 027-254-9933（代表）	新聞の活用や新聞づくりについて、さまざまな視点から専門家が児童生徒にアドバイス 各新聞社との調整可

上記の他にも、次の学習において活用することができます。

- ・食料生産 …… 地域の農家やJA（農業協同組合）の方 → 仕事をする際の工夫や努力を調査。
- ・産業と情報 …… 放送や新聞づくりに携わる方 → 情報産業と国民生活との関連について調査。
- ・工業生産 …… 自動車企業 → 最先端の電気自動車やハイブリッドカー、福祉車両等の実物体験。
- ・歴史（室町） …… 伝統文化の継承者 → 茶の湯や生け花、能や狂言などの体験。  
（昭和） …… 戦争を体験された方 → 戦争時の様子や思いについての話を聞く。 等